

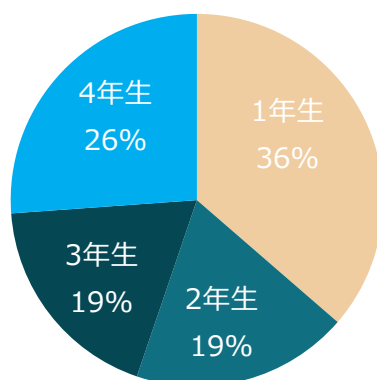
学生の ICT 環境に関する調査（報告）

2021 年度学生生活調査から

調査概要

1. 調査期間：2021 年 7 月 16 日～8 月 14 日
2. 調査対象：全学部生（1,900 名）※2021 年 5 月 1 日現在
3. 調査方法：記名式によるインターネットを活用したアンケート調査
4. 調査結果：有効回答 440 件（回答率 23.2%）
5. 調査目的：学生の遠隔授業受講環境を把握し、今後も続くことが想定される新しい生活様式の中で、大学として学生への適切な援助体制を整えることを目的としています。
6. 補記：本報告は「学生生活調査」の一部としておこなった ICT 環境に関するアンケート項目部分のみについて報告するものです。

回答者に占める学年の割合

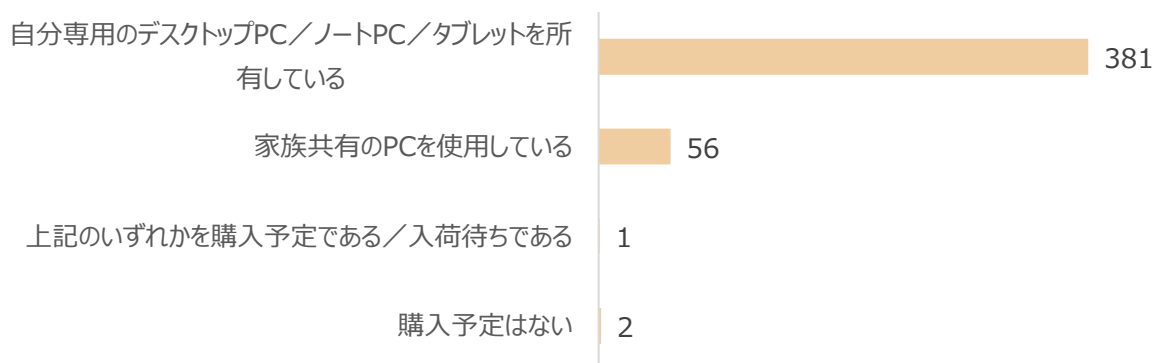


学生の ICT 環境に関する調査（報告）

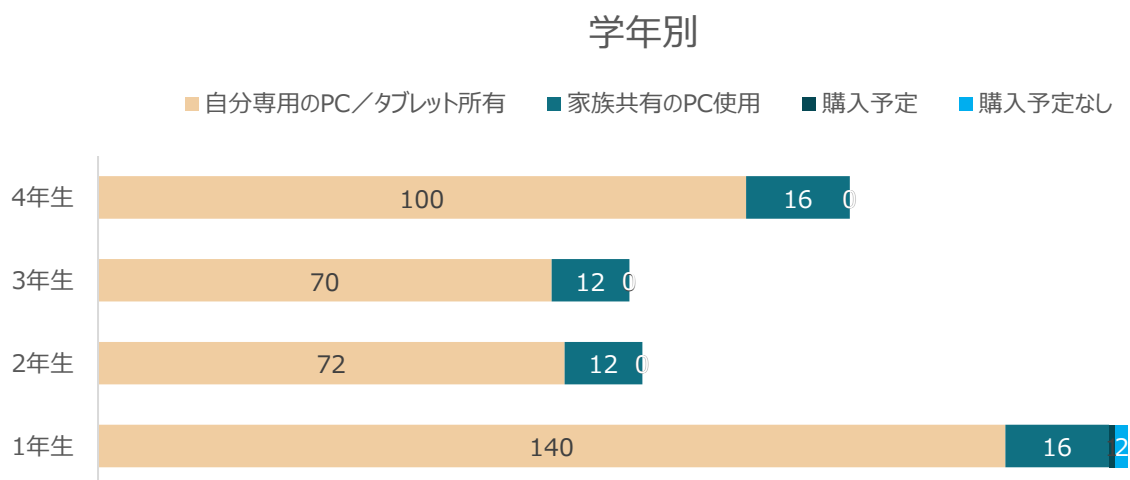
2021 年度学生生活調査から

自分の学習用に使えるコンピュータを持っていますか

- ✓ 約 87%にあたる学生が自分専用のコンピュータ（タブレット端末含む）を所有していることがわかりました。PC を所有しながらスマートフォンで遠隔授業に参加する可能性もあることを考え、1 割を超える学生が家族と共有の PC で、制約を受けながら遠隔授業に参加している可能性があることに注意が必要です。



- ✓ 学年別に見てみると、昨年度の全面遠隔授業実施もあり、2 年生以上は何らかの形で学習に使える PC を所有しているようです。しかし、1 年生の中には自分の学習用に PC を購入する予定がないと答えている学生が少数ながらいることがわかります。



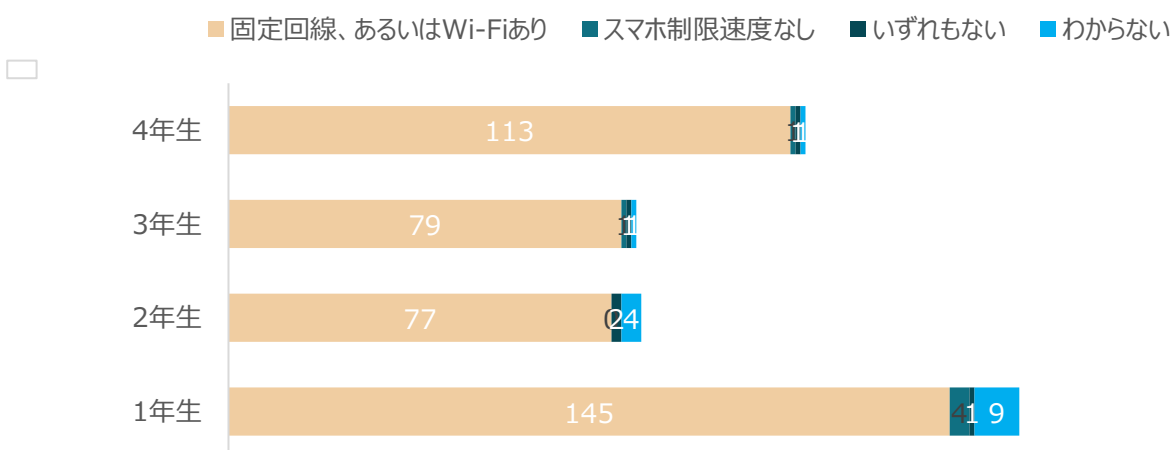
自宅にインターネット接続環境はありますか

- ✓ 自宅に十分なインターネット接続環境がある学生は約 94%に上りました。2021 年度前期は、対面授業を基調としつつ、東京都下に緊急事態宣言が発出された期間（2021 年 4 月 25 日～6 月 20 日、7 月 12 日～9 月 12 日）には遠隔授業へと切り替えがなされました。大きな混乱もなく前期を終了できたのは、学生のみなさんの日頃の備えが万全であったからだと考えられます。また、白百合女子大学ではノート PC および無償の Wi-Fi ルータの貸与を実施していますが、その貸出状況等を見て、今後の対応を考える必要があります。



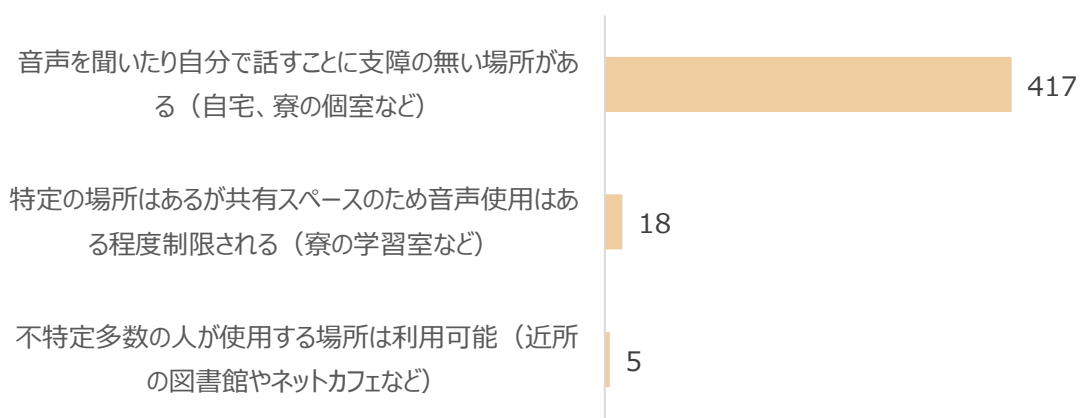
- ✓ 1 年生に「わからない」と答える学生が多いようですが、その 9 割以上は「家族と同居」している学生でした。一人暮らし等で自分の置かれている状況が分からず困っているということではないようです。

学年別



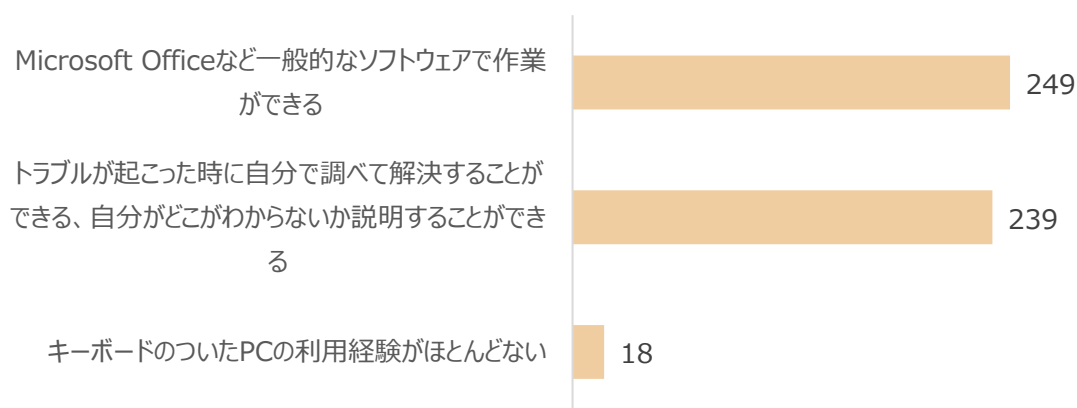
大学キャンパスに来ることができない場合、遠隔授業に参加する場所は確保できますか

- ✓ 約 95%にあたる学生が集中できる環境で遠隔授業に参加することができているようです。白百合女子大学では申請すれば PC 教室や空き教室で授業を受けることが可能な態勢を取っています。



PC をどの程度利用できますか

- ✓ 基本的な操作が可能だと考えている学生は 95%にのびりました。

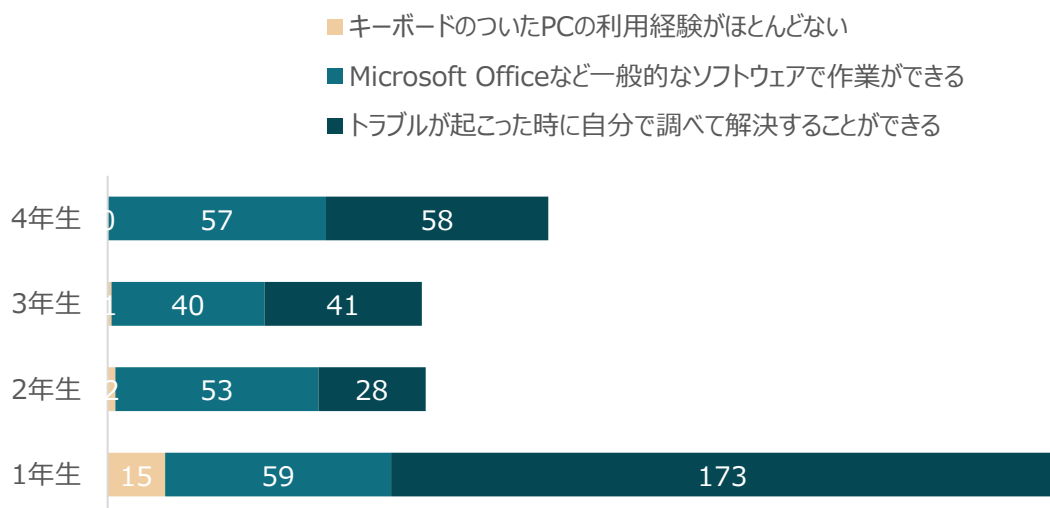


学生の ICT 環境に関する調査（報告）

2021 年度学生生活調査から

- ✓ 1 年生の約 6%がキーボードのついた PC の操作経験がほとんどないと答えています。また、トラブルが起こったときに自分で調べて解決することができる」と答えた割合を見ると、2 年生の低さが際立っていることがわかります（1 年生 70%、2 年生 34%、3 年生 50%、4 年生 55%）。

学年別



身近に PC 操作について相談できる人はいますか

- ✓ 半数近い学生が「トラブルが起こったときに自分で調べて解決できる」と答えているものの、「すぐに相談できる人がいない」状態にある学生が 2 割弱程度いることがわかりました（1 年生 18%、2 年生 22%、3 年生 21%、4 年生 15%）。学生が PC 操作や遠隔授業でのトラブルについていつでも相談できる態勢を強化する必要があると考えられます。

